



探究ルーブリック作成シート 3観点×3段階

といのタネ

総合的な探究の時間の1単元分のルーブリックを作るための用紙です。ステップ1から順に埋めると、生徒に配れる表が1枚できます。ステップ5は生徒が記入する欄なので、切り離して配ることもできます。

ステップ1 評価する過程と成果物を決める

この単元で評価する探究の過程を1～2つ選び、見取る成果物を書きます。

単元名: _____

学年・時期: _____

作成者: _____

探究の過程	この単元で評価するものに○	見取る成果物
課題の設定		
情報の収集		
整理・分析		
まとめ・表現		

ステップ2 評価規準を1観点1文で書く

学習指導要領の目標(1)～(3)の文言を単元の言葉に置き換え、「～している」の形で1文ずつ書きます。

観点	対応する目標	評価規準
知識・技能	目標(1)	
思考・判断・表現	目標(2)	
主体的に学習に取り組む態度	目標(3)	

ステップ3 3段階の記述語を書く

Bを先に書きます。AはBに1要素を足した姿、CはBに届くために出す支援として書きます。各マスは1文で、成果物の上で確かめられる語を使います。

観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する・出す支援
知識・技能			
思考・判断・表現			
主体的に学習に取り組む態度			

AIで下書きした場合は、次の4点を確かめて□に印を付けてから使います。

- 各マスの語が、ステップ1の成果物の上で確かめられる

- ☐ AとBの差が1要素になっている
- ☐ 「深く」「積極的に」など程度だけを表す語が残っていない
- ☐ 生徒が授業で聞いている用語に置き換えた

ステップ4 見本3点で採点を合わせる

同じ見本3点を担当者がそれぞれ採点し、段階が割れた観点の記述語を書き直します。氏名を消した見本を使います。

見本	担当者1	担当者2	担当者3	割れた観点	書き直した記述語
見本1 Aに近いもの					
見本2 Bに近いもの					
見本3 判断に迷うもの					

次の単元までに見直すマス: _____

ステップ5 生徒の自己評価欄

ここは生徒が書く欄です。自分の成果物を見て、観点ごとにA・B・Cのどれかを書き、そう判断した根拠を1行で書きます。

氏名: _____ 提出日: _____

観点	自分の段階	根拠 成果物のどこを見たか	教員の段階
知識・技能			
思考・判断・表現			
主体的に学習に取り組む態度			

Bに届くために次にやること: _____

記入例 整理・分析の単元

評価する過程は整理・分析、見取る成果物は比較表と考察メモの場合の例です。

観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する・出す支援
知識・技能	比較に使った観点を選んだ理由を考察メモに書いている	比較表の観点と項目を使い分けて情報を並べている	比較表の見本を見せ、観点を1つ決めるところから一緒に始める
思考・判断・表現	比較表から読み取ったことをもとに、問いを書き直している	比較表から読み取ったことを根拠に、問いへの考えを書いている	比較表で差が一番大きい所を示させ、その理由を口頭で聞く

観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する・出す支援
主体的に学習に取り組む態度	分析の途中で足りない情報に気づき、追加の調査計画を立てている	分析の結果を振り返りシートに書き、次の手順を1つ決めている	振り返りシートの書き出しを示し、次にやることを1つ選ばせる